



## 株式会社荏原製作所

2024 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会

2024 年 8 月 14 日

## イベント概要

[企業名]	株式会社荏原製作所
[企業 ID]	6361
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2024 年 12 月期 第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2024 年度 第 2 四半期
[日程]	2024 年 8 月 14 日
[時間]	16:00 – 17:06 (合計：66 分、登壇：25 分、質疑応答：41 分)
[開催場所]	インターネット配信
[登壇者]	8 名 取締役 代表執行役社長 CEO & COO 兼 精密・電子カンパニープレジデント 浅見 正男 (以下、浅見) 執行役 建築・産業カンパニープレジデント 永田 修 (以下、永田) 執行役 エネルギーカンパニープレジデント 宮木 貴延 (以下、宮木) 執行役 インフラカンパニープレジデント 太田 晃志 (以下、太田) 執行役 環境カンパニープレジデント 山田 秀喜 (以下、山田)

執行役 精密・電子カンパニーカンパニー共同 COO

南部 勇雄（以下、南部）

執行役 CFO

細田 修吾（以下、細田）

グループ広報・財務統括部長

大崎 晃裕（以下、大崎）



## 2024年12月期第2四半期 決算説明会資料 荏原 (6361)

2024年8月14日

Looking ahead,  
going beyond expectations  
*Ahead Beyond*

株式会社 荏原製作所

**大崎**：お待たせいたしました。本日はご多用のところ、株式会社荏原製作所の2024年12月期第2四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今より、会を始めさせていただきます。

本日の15時に決算関連の書類を東証のプラットフォーム並びに当社ホームページに開示しております。そちらもご覧いただきながらご参加くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

私どもの出席者をご紹介します。代表執行役社長、浅見正男でございます。

**浅見**：浅見でございます。今日はよろしくお願い致します。

**大崎**：建築・産業カンパニープレジデント、永田修でございます。

**永田**：永田です。本日はよろしくお願い致します。

**大崎**：エネルギーカンパニープレジデント、宮木貴延でございます。

**永田**：宮木でございます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

**大崎**：インフラカンパニープレジデント、太田晃志でございます。

太田：太田でございます。本日はよろしくお願いいたします。

大崎：環境カンパニープレジデント、山田秀喜でございます。

山田：山田でございます。本日はよろしくお願いいたします。

大崎：精密・電子カンパニーCOO、南部勇雄でございます。

南部：南部でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

大崎：CFO、細田修吾、IR担当執行役でございます。

細田：細田でございます。よろしくお願いいたします。

大崎：司会は、グループ広報・財務統括部、大崎が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 目次



<b>当決算におけるポイント</b>	<b>P3</b>	<b>4. トピックス</b>	
<b>1. FY24 1-2Q連結決算サマリ</b>		・生成AI向け半導体と精密・電子セグメントの製品需要との関係	<b>P21</b>
・連結業績	<b>P5</b>	<b>5. 補足資料</b>	
・セグメント別	<b>P6</b>	・連結業績予想	<b>P23</b>
・営業利益増減分析	<b>P7</b>	・受注高	<b>P24</b>
・地域別売上収益	<b>P8</b>	・売上収益	<b>P25</b>
<b>2. FY24 1-2Qセグメント別業績</b>		・営業利益	<b>P26</b>
・建築・産業	<b>P10</b>	・受注残高	<b>P27</b>
・エネルギー	<b>P11</b>	・地域別売上収益	<b>P28</b>
・インフラ	<b>P12</b>	・サービス&サポート(S&S)売上収益	<b>P29</b>
・環境	<b>P13</b>	・貸借対照表	<b>P30</b>
・精密・電子	<b>P14</b>	・キャッシュ・フロー	<b>P31</b>
<b>3. FY24 業績予想</b>		・資本的支出、減価償却費、研究開発費	<b>P32</b>
・連結業績	<b>P17</b>	・ESG Topics	<b>P33</b>
・セグメント別	<b>P18</b>		
・営業利益増減分析	<b>P19</b>		

### ■ 略語の説明

- ・ FY：会計年度（例「FY24」は2024年12月期会計年度）
- ・ 「1Q」は第1四半期の数値、「1-2Q」、「1-3Q」、「1-4Q」はそれぞれ第1四半期から各四半期末までの累計値であることを示している
- 本資料で示す財務数値はIFRSベースで記載している

2 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

本日のスケジュールでございますが、決算概要を CFO の細田より、続けて、今期の見通しを社長の浅見より説明させていただきます。その後、皆様からのご質問をお受けいたします。終了時刻は17時30分を予定しております。

それでは、細田より説明に入らせていただきます。

**FY24 1-2Q 業績**

	実績	前年同期比	計画比*
受注高	3,996 億円	+320 億円 +8.7% ↗	+46 億円 +1.2% →
売上収益	3,945 億円	+307 億円 +8.4% ↗	-54 億円 -1.4% →
営業利益	399 億円	+61 億円 +18.3% ↗	-0 億円 -0.1% →
営業利益率	10.1%	+0.8pts	+0.1pts

↗は+5%以上、↘は-5%以上の変化、→は変化が±5%未満

**FY24 通期業績予想**

	今回計画	前期比	前回計画比*
受注高	8,450 億円	+244 億円 +3.0% →	+110 億円 +1.3% →
売上収益	8,270 億円	+676 億円 +8.9% ↗	-
営業利益	870 億円	+9 億円 +1.1% →	-
営業利益率	10.5%	-0.8pts	-

\* 2024年5月14日公表の計画値

**ポイント**

**FY24 1-2Q 業績**

- 受注高、売上収益、営業利益ともに、2Qとして過去最高業績を更新
- 半導体市場は、底打ち後の回復基調がより鮮明となり、精密・電子の受注高は前年同期比で増加
- 精密・電子、建築・産業を中心とした収益性改善により、前年同期比で18%の増益

**FY24 通期業績予想**

- インフラと環境の上期の受注状況と下期の見通しを踏まえ、全社受注高の通期業績予想を110億円上方修正
- 売上収益、営業利益については前回計画値を据え置き

3 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

**細田**：皆様、こんにちは。IR 担当執行役、CFO の細田でございます。本日はお盆の最中に当社決算説明会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

当決算のポイントですけれども、決算発表を通じまして、当社として発信したいメッセージとしては、3点ぐらいに集約されるのではないかなと思っております。

まず、1点目としましては、今回の決算、当第2四半期連結業績の全体感ですけれども、セグメントごとに若干の濃淡はありますものの、全体としては、計画対比で順調な進捗と言えらると思っております。開示していた計画値に対する乖離も小さく、サプライズが比較的少ない、おおむね想定された範囲の着地だったという点が、まず1点目として挙げられます。

2点目としては、前年同期対比では、受注、売上収益、営業利益、それから、営業利益以下の当期利益まで全て前年同期比に対してプラスであるという決算でございました。

ヒストリカルにも第2四半期決算としては、過去最高業績であったと言える点が2点目でございます。特に、営業利益で昨年同期比18%増、当期利益では41%増であったということから、利益創出力も含めて昨年度以来の好調さを維持できた決算であったというふうに、捉えております。

3点目のポイントとしましては、今度は個別セグメントの話になりますが、特に皆さんの関心が高いと思われる半導体市場において、一時低迷していた市場が底打ちしたあとに、今は回復基調が継続しているというのが基本的な状況であります。さらに一部顧客の工場稼働率も改善してきている

ということで、アフターサービスも含めた当社の精密・電子セグメントの受注が前年同期よりも大幅増となってきた、その点が今回の決算の3点目のポイントだと思っております。

以上を踏まえまして、今期、通期の業績予想につきましても、大きくは変えませんが、インフラセグメントと環境セグメントの現在の状況と下期の動向を踏まえまして、受注の計画を若干調整しています。その結果、全社受注高が前回予想の8,340億円から8,450億円と110億円の上方修正となっております。売上収益、営業利益については前回予想から修正はございません。以上がまず、今回の決算の概観になります。



## 1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ

## 2. FY24 1-2Q セグメント別業績

## 3. FY24 業績予想

## 4. トピックス

## 5. 補足資料

続きまして、個別の詳細の説明に入りたいと思います。

1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ  
連結業績



(単位: 億円)	FY23 1-2Q 実績 a	FY24 1-2Q 実績 b	前年同期比		FY24 1-2Q 計画 24/05/14 c	計画比	
			増減 b-a	増減率 (b-a)/a		増減 b-c	増減率 (b-c)/c
受注高	3,676	<b>3,996</b>	+320	+8.7%	3,950	+46	+1.2%
売上収益	3,638	<b>3,945</b>	+307	+8.4%	4,000	-54	-1.4%
営業利益	337	<b>399</b>	+61	+18.3%	400	-0	-0.1%
営業利益率	9.3%	<b>10.1%</b>	+0.8pts		10.0%	+0.1pts	
親会社の所有者に帰属する中間利益	205	<b>292</b>	+86	+41.9%	265	+27	+10.3%
EPS (円) *1	44.67	<b>63.28</b>	+18.60	+41.6%	57.40	5.88	+10.2%
為替レート*2							
対米ドル (円)	134.79	151.97	+17.18		140.00	+11.97	
対ユーロ (円)	145.66	164.30	+18.64		150.00	+14.30	
対人民元 (円)	19.46	21.07	+1.61		19.50	+1.57	

\*1 2024年7月1日に1株を5株とする株式分割を実施。記載は株式分割後ベースに調整した数値

\*2 為替レートは各四半期における期中平均レートを単純平均で表記

5 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5 ページをご覧ください。第2 四半期の連結業績です。受注は、前年同期比で 320 億円増加して 3,996 億円、売上収益は前年同期比 307 億円増加して 3,945 億円、営業利益は 61 億円増加して 399 億円、親会社の所有者に帰属する中間利益は 86 億円の増加で 292 億円となりました。

EPS についても 63.28 円と前年同期比で増加となりました。上半期の期中平均為替レートにつきましては、各主要通貨において前年同期と比べて円安となっておりますが、為替による営業利益への影響は前年同期比で 25 億円プラス程度と分析しています。したがって、営業利益 61 億円増加したうちの 25 億円は為替の影響と分析しております。

スライドの右側には 5 月公表時における上半期着地計画と、実際の着地との対比を掲載しておりますが、ほぼ計画どおりの着地であったという結果となっております。



# 1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ セグメント別



(単位: 億円)		FY23 1-2Q 実績	FY24 1-2Q 実績	前年同期比		FY24 1-2Q 計画 24/05/14	計画比	
				増減 b-a	増減率 (b-a)/a		増減 b-c	増減率 (b-c)/c
		a	b			c		
連結合計	受注高	3,676	3,996	+320	+8.7%	3,950	+46	+1.2%
	売上収益	3,638	3,945	+307	+8.4%	4,000	-54	-1.4%
	営業利益	337	399	+61	+18.3%	400	-0	-0.1%
	営業利益率	9.3%	10.1%	+0.8pts		10.0%	+0.1pts	
建築・産業	受注高	1,110	1,236	+125	+11.3%	1,170	+66	+5.7%
	売上収益	1,065	1,147	+82	+7.8%	1,130	+17	+1.6%
	営業利益	67	78	+10	+15.9%	75	+3	+4.1%
	営業利益率	6.3%	6.8%	+0.5pts		6.6%	+0.2pts	
エネルギー	受注高	1,014	955	-59	-5.8%	1,000	-44	-4.4%
	売上収益	794	926	+131	+16.6%	965	-38	-4.0%
	営業利益	73	75	+1	+2.5%	90	-14	-16.6%
	営業利益率	9.2%	8.1%	-1.1pts		9.3%	-1.2pts	
インフラ	受注高	252	287	+34	+13.7%	275	+12	+4.5%
	売上収益	292	258	-34	-11.8%	280	-21	-7.7%
	営業利益	44	30	-13	-30.0%	35	-4	-11.9%
	営業利益率	15.0%	11.9%	-3.1pts		12.5%	-0.6pts	
環境	受注高	492	352	-140	-28.5%	300	+52	+17.4%
	売上収益	309	383	+74	+23.9%	385	-1	-0.3%
	営業利益	26	36	+9	+37.1%	35	+1	+3.1%
	営業利益率	8.5%	9.4%	+0.9pts		9.1%	+0.3pts	
精密・電子	受注高	799	1,159	+359	+45.0%	1,200	-40	-3.4%
	売上収益	1,169	1,222	+53	+4.6%	1,235	-12	-1.0%
	営業利益	126	192	+66	+52.9%	170	+22	+13.5%
	営業利益率	10.8%	15.8%	+5.0pts		13.8%	+2.0pts	
その他、調整	受注高	5	5	-0		5	+0	
	売上収益	6	5	-0		5	+0	
	営業利益	0	-13	-14		-5	-8	
	営業利益率	9.1%	-227.6%	-236.7pts		-100.0%	-127.6pts	

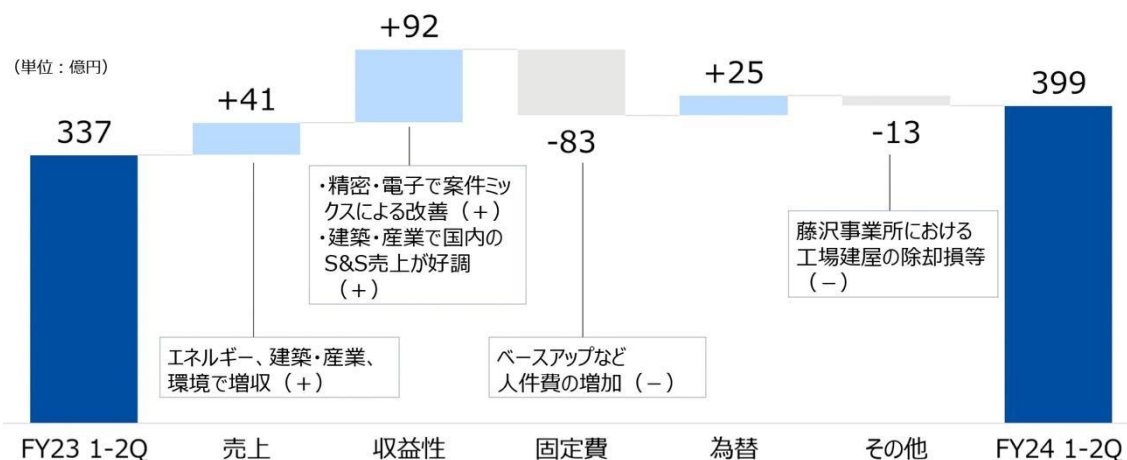
6 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

続きまして、6 ページ目をご覧ください。セグメント別でございます。受注につきましては、精密・電子セグメントが前年同期比で大きく増加、建築・産業セグメントは国内海外とも堅調に推移して増加、インフラセグメントは排水機場向けの遠隔監視案件を複数受注したことなどにより、増加しております。

一方、環境とエネルギーセグメントは、市場環境に大きな変化は見られないものの、大型案件の受注タイミングの影響で、前年同期比では今回の上半期は少し減少しているという結果になっておりますが、5セグメント合わせた全体としては320億円の増加になっております。

売上につきましては、インフラを除く他の4セグメントが堅調に推移して、全体としては、前年同期比307億円の増加です。営業利益につきましては、精密・電子セグメントが牽引しまして、前年同期比で61億円増加という結果です。

収益性の改善や売上増の寄与が固定費の増加を上回り増益



7 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

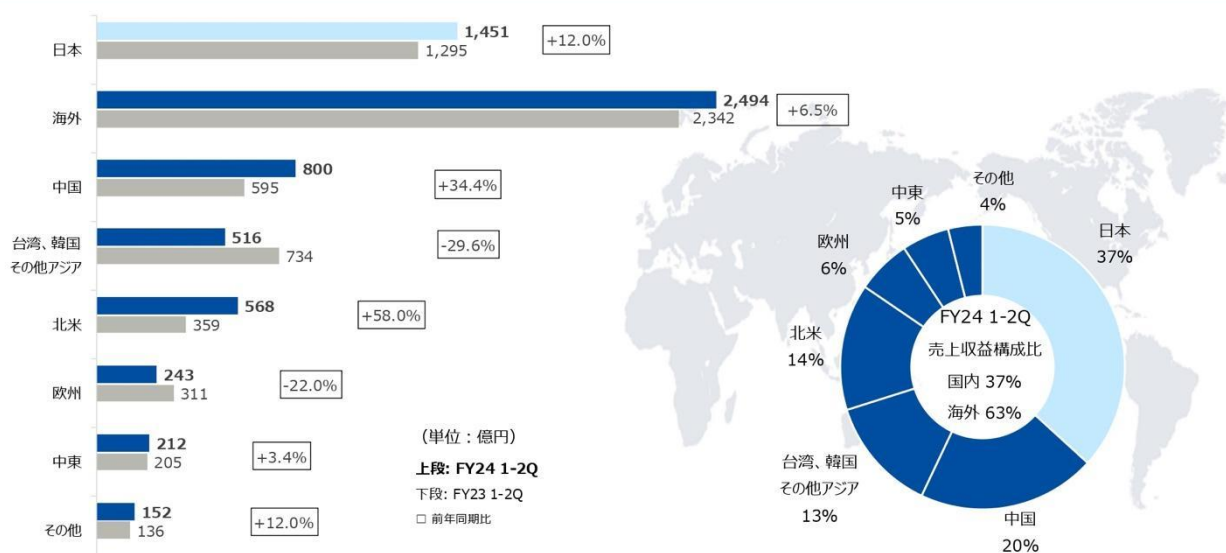
次のページは営業利益の前年同期からの利益増減分析です。

繰り返しになりますが、61億円の増加の内訳要因としまして、売上増加起因は、エネルギー、建築・産業、環境セグメントで増収となった結果として、41億円の営業利益の増加に貢献していると分析しております。

収益性につきましては、主に精密・電子セグメントと建築・産業セグメントにおける収益性改善によって、92億円のプラスとなっております。固定費要因におきましては、ベースアップなどによる人件費増加によって固定費が増加しまして、昨年同期比83億円のマイナスとなっております。

先ほど申し上げましたとおり、為替要因で25億円のプラスを加味した上で、その他、藤沢事業所の建物解体に伴う除却損等で13億円のマイナス要因がございまして、全体としては、2Qの営業利益は399億円という結果となっております。

1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ  
地域別売上収益



※「地域別売上収益」は売上先所在地別売上収益を示す

8 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

8 ページ目は、地域別売上収益構成、1、2Q の累計でございます。海外売上構成比率は右側の円グラフにありますとおり、6 割を超える水準となっております。左側の棒グラフは、上段が今期の 2Q まで、下段が前期の 2Q までの売上で、ご覧のとおり、今期 2Q においては国内、海外とも前期よりも売上が伸長しております。

国内の増加は主に建築・産業の売上の増加によるものです。海外を地域別に見ていきますと、前年同期比で伸びが大きいのは北米と中国でありますけれども、一方で、減少幅が大きいのは台湾や韓国を含むその他アジアとなっております。

北米は、エネルギーセグメント、中国やその他アジアは、精密・電子セグメントの売上動向が影響した結果と分析しております。

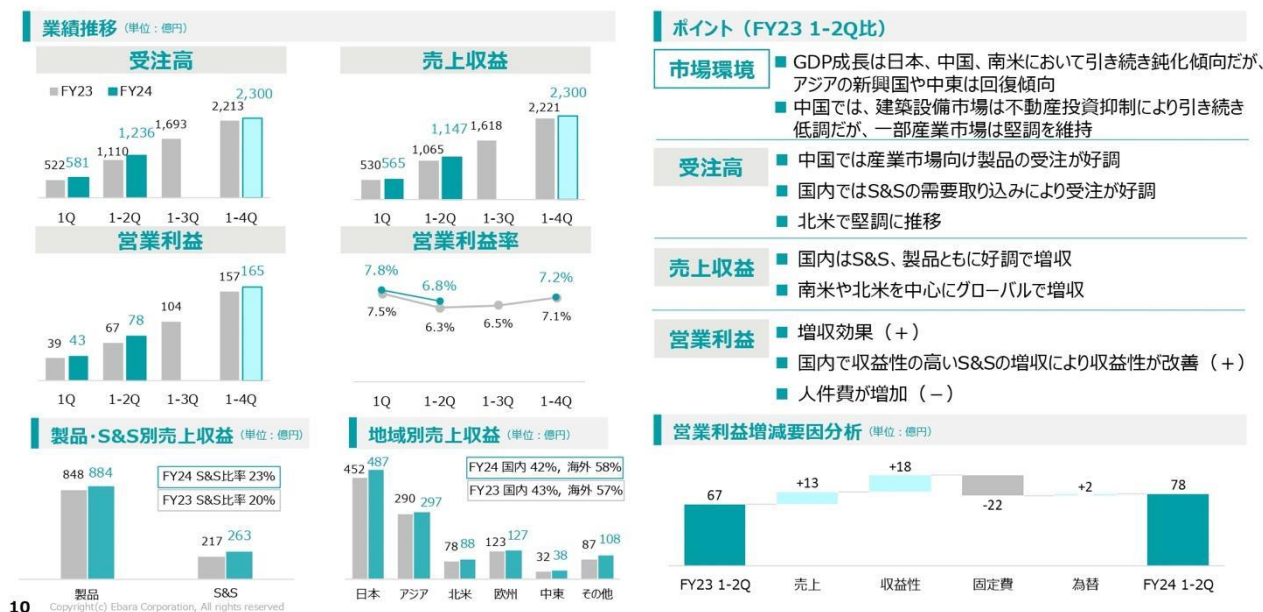
1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ
- 2. FY24 1-2Q セグメント別業績**
3. FY24 業績予想
4. トピックス
5. 補足資料

9 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

引き続き、セグメント別の業績の説明に入ります。

## 2. FY24 1-2Q セグメント別業績

### 建築・産業



10 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

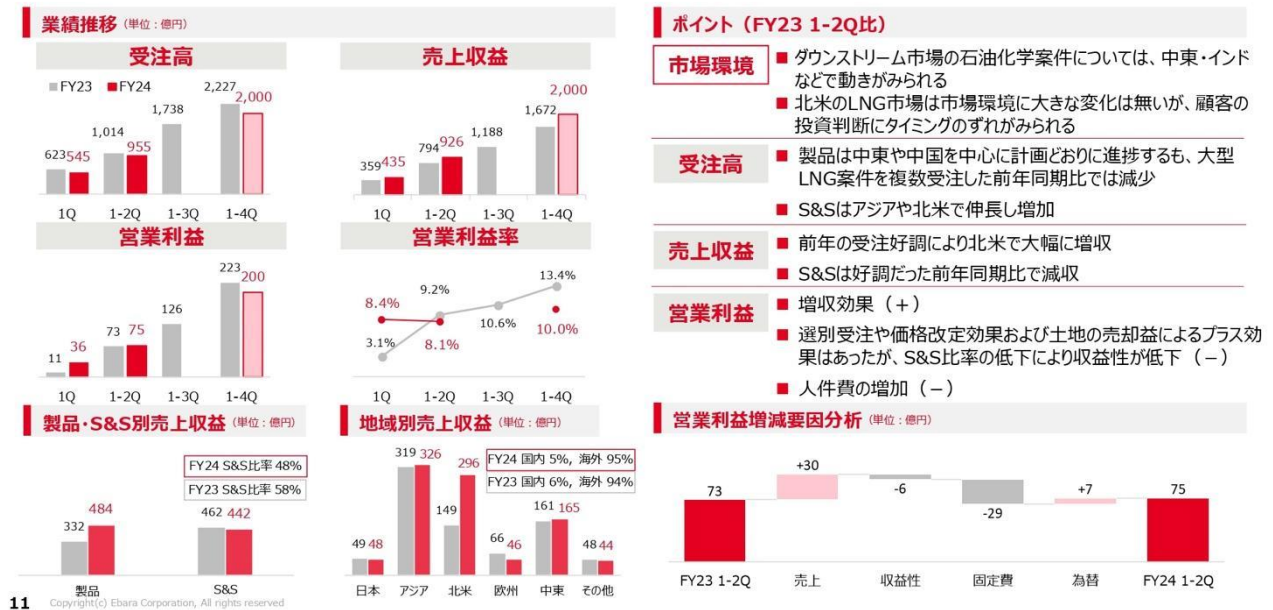
10 ページ目をご覧ください。まず、建築・産業セグメントです。

受注、売上、営業利益いずれも前年同期を上回っています。市場環境については、GDP 成長について、中国、南米は鈍化傾向であります。アジアの新興国や中東では GDP 成長が回復傾向にあります。そのような中で、当社の受注が増加した要因としましては、中国において一部の産業市場

向けで省エネ製品への需要の高まりもあって、引き続き中国での売上が堅調に推移したことにより  
ます。一方、国内ではポンプや冷熱製品によるサービス&サポート事業の取り組みが奏功しており  
まして、受注、売上ともに増加しています。

営業利益は、人件費などの固定費が増加しましたが、増収要因に加えまして、収益性の高いサービ  
ス&サポートの比率が、上昇したことにも起因しまして、収益性要因も増加となっております。

## 2. FY24 1-2Q セグメント別業績 エネルギー



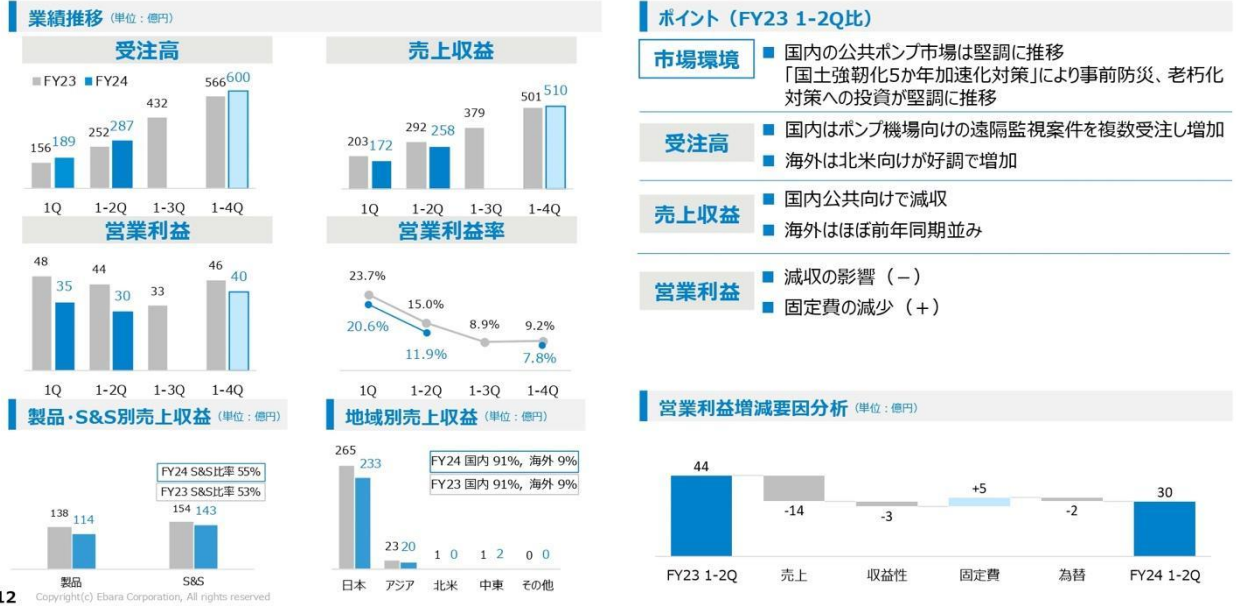
次のページは、エネルギーセグメントです。受注は前年同期比で減少しましたが、売上、営業利益は増加しております。

市場環境については、オイル&ガスのダウンストリーム市場の石油化学案件で、昨年に引き続き中東や、さらにはインドなどでも動きが見られている状況です。一方、昨年好調だった北米のLNG市場は市場環境という意味では大きな変化はないのですが、顧客の投資判断にタイミングのずれが見られるような状況でございます。

受注は、中東や中国で計画どおり大型案件を複数受注しましたが、LNG 向けの大型案件を受注せず、前年同期比では減少となっているというのが今回の 2Q です。売上は、昨年の製品受注が好調だったことを背景に、その売上がこの 2Q までに着々と進捗しておりまして、主に北米向けの売上が大きく増加しています。一方、サービス&サポートは前年と比べて減少しております。

営業利益につきましては、増収効果はありましたが、製品の売上増加によって、逆にサービス&サポート比率が低下したこともあって、それが収益性低下要因になっているとともに、固定費も増加したことで、利益は全体としては微増にとどまっています。

## 2. FY24 1-2Q セグメント別業績 インフラ

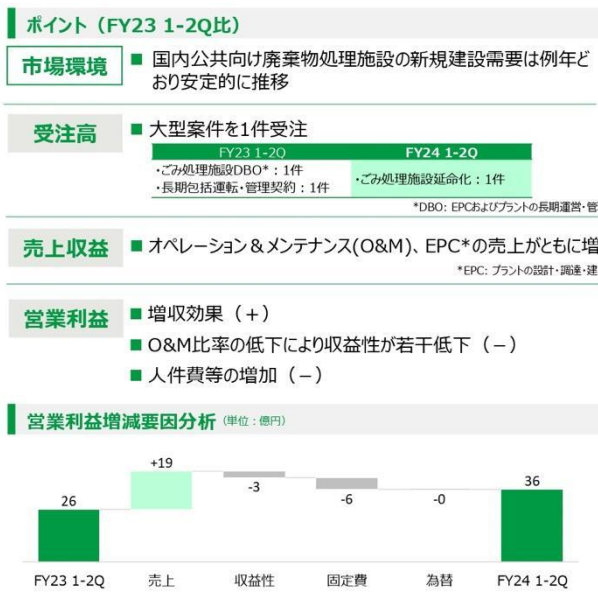
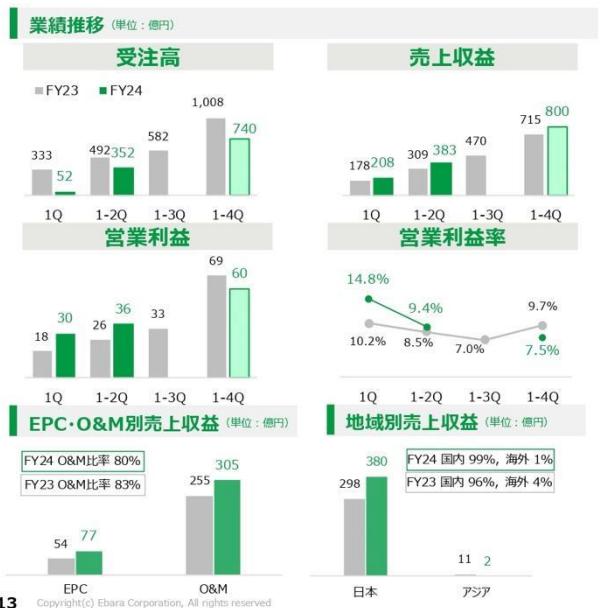


12 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

続きまして、インフラセグメントです。受注は前年同期比で増加していますが、売上、営業利益は減少しております。国内においては、ポンプ設備の更新、補修に対する需要が、国土強靱化5か年加速化計画の4年目を迎えたということもあって、非常に堅調に推移しています。

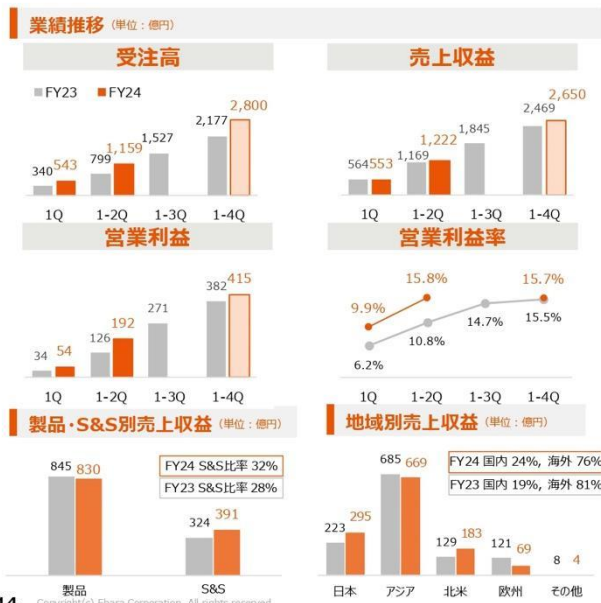
受注は、その5か年加速化対策の中長期目標の一つとなっている排水機場の遠隔監視機能の整備が進む中で、ポンプ排水機場向けの遠隔監視案件を複数受注しました。また、北米向けに大型案件の受注をした結果、前年同期を若干上回っております。

売上は、工事進行案件の期ずれ等により前年同期を下回っており、営業利益は、売上の減少により前年同期比で減益となっているというのが、インフラセグメントの状況でございます。



環境セグメントに関しましては、受注は前年同期比で減少、売上、営業利益については増加です。今期は EPC の受注の谷間にありますために、年間の受注計画も昨年比大幅減と、もともと計画しております。その中で、2Q の受注については大型案件を 1 件受注したものの、前年同期との比較においては減少となっております。

昨年の受注残から EPC、O&M とも売上が増加したことにより、営業利益も増益となっているというのが 2Q の環境セグメントの状況でございます。



最後に、精密・電子セグメントでございます。受注は、前年同期比で大幅増、売上、営業利益も増加となりました。半導体市場はグローバルの大手の顧客においては、一部顧客の工場稼働率の改善が見られるほか、全体として緩やかな回復基調と言え、下期の本格的な投資回復が期待される状況でございます。これを受けて、当社の受注状況は前年同期に比べ、CMP、コンポーネント、両市場での需要回復により、製品とサービス&サポートとともに増加してきております。

売上は、CMP、コンポーネントともに、サービス&サポート需要が堅調で増収となりました。一方で、CMPは出荷済みの製品において、お客様側で検収のタイミングに遅れが見られ、その関係で若干、売上計上が遅れている面もございます。

営業利益については、案件ミックスの改善やサービス&サポート比率の上昇により収益性が向上し、固定費の増加分をカバーしての増益となっております。

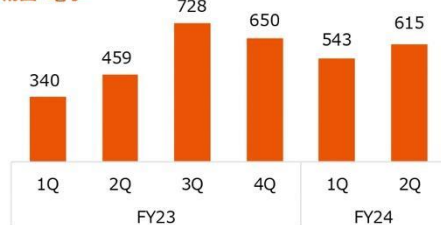


2. FY24 1-2Q セグメント別業績  
**精密・電子 業績推移 (四半期)**



**受注高** (単位: 億円)

**精密・電子**



**コンポーネント**

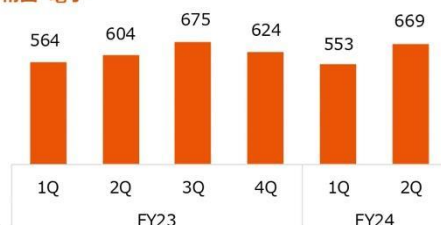


**CMP**



**売上収益** (単位: 億円)

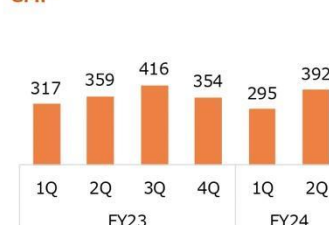
**精密・電子**



**コンポーネント**



**CMP**



15 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

15 ページ目をご覧ください。精密・電子セグメントにおける四半期ごとの業績推移を、今回の決算から追加しております。受注と売上について、精密・電子セグメント全体と、コンポーネント、CMP の四半期推移をお示ししております。

受注、売上とも 1Q で底を打ち、2Q から回復基調となってきております。受注については、下期からのさらなる回復を想定しております。売上については、顧客の工場稼働率の改善により、ドライ真空ポンプのオーバーホールや、CMP 装置の部品交換など、サービス&サポート需要が堅調に推移すると見込んでおります。

2Q の業績、実績に関する説明は以上でございます。

1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY24 1-2Q セグメント別業績
- 3. FY24 業績予想**
4. トピックス
5. 補足資料

**浅見**：皆さん、こんにちは。浅見でございます。本日は、決算説明会にご参加いただきありがとうございます。それでは、私から2024年の通期業績について説明をさせていただきます。

### 3. FY24 業績予想 連結業績

インフラと環境の上期の受注状況と下期の見通しを踏まえ、全社受注高の通期業績予想を110億円上方修正

(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY23 実績 a	FY24 旧計画 24/02/14 b	FY24 計画 24/08/14 c	1-4Q			
				前期比		旧計画比	
				増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b
受注高	8,205	8,340	8,450	+244	+3.0%	+110	+1.3%
売上収益	7,593	8,270	8,270	+676	+8.9%	-	-
営業利益	860	870	870	+9	+1.1%	-	-
営業利益率	11.3%	10.5%	10.5%	-0.8pts	-	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	602	608	608	+5	+0.9%	-	-
ROIC	12.2%	11.0%	11.0%	-1.2pts			
ROE	15.7%	14.2%	14.2%	-1.5pts			
EPS (円) *1	130.72	131.70	131.68	+0.96	+0.7%		
1株当たり年間配当金 (円) *1	45.8	46.0	46.0	+0.2			
<b>為替レート*2</b>							
対米ドル (円)	140.50	140.00	140.00			-	-
対ユーロ (円)	151.90	150.00	150.00			-	-
対人民元 (円)	19.83	19.50	19.50			-	-

\*1 2024年7月1日に1株を5株とする株式分割を実施。記載は株式分割後ベースに調整した数値

\*2 為替レート：FY23は四半期毎の期中平均レート実績を単純平均した値で表記。FY24は年間想定為替レートを表記

17 ページ目をご覧ください。今期の事業環境についてですが、世界的なインフレ、そして、欧米の高い金利水準が継続していること。それから、中国経済の減速によって、下振れリスクがございますけれども、世界経済全体といたしましては、回復傾向にあると見ております。

一方で、米中の対立による半導体輸出管理規制の強化、ウクライナ情勢や中東情勢など、地政学リスクには注視が必要な状況だと考えております。半導体市場は、緩やかな回復基調にある中で、下期に向けましては、一層の回復が期待される局面だと見ております。

エネルギーセグメントにおきましては、オイル&ガスのダウンストリーム市場に加えまして、LNG市場が堅調に推移しております。建築・産業においては、中国の一部産業向け市場が引き続き底堅い状況であると見ております。

このような事業環境と2Q業績の進捗、そして、下期の見通しを踏まえまして、2024年の通期業績予想につきましては、受注を期初の予想から110億円引き上げまして、8,450億円といたしました。なお、売上は8,270億円、営業利益は870億円と据え置きました。その他の経営指標、配当金、想定為替レートにつきましても変更しておりません。

### 3. FY24 業績予想 セグメント別



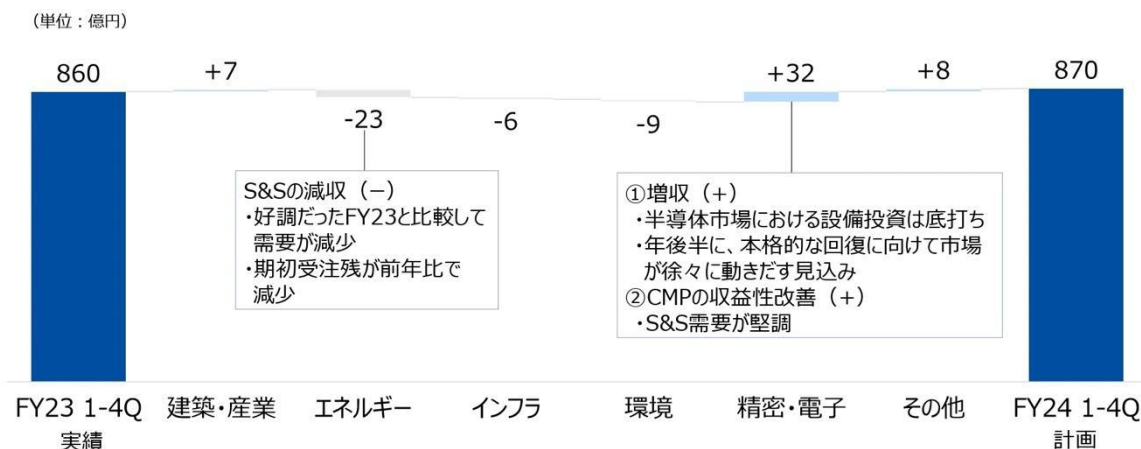
(単位:億円) 発表日(年/月/日)	FY23 実績 a	FY24 計画 24/02/14 b	FY24 計画 24/08/14 c	1-4Q				
				前期比		旧計画比		
				増減 c-a	増減率 (c-a)/a	増減 c-b	増減率 (c-b)/b	
連結合計	受注高	8,205	8,340	8,450	+244	+3.0%	+110	+1.3%
	売上収益	7,593	8,270	8,270	+676	+8.9%	-	-
	営業利益	860	870	870	+9	+1.1%	-	-
	営業利益率	11.3%	10.5%	10.5%	-0.8pts	-	-	-
建築・産業	受注高	2,213	2,300	2,300	+86	+3.9%	-	-
	売上収益	2,221	2,300	2,300	+78	+3.5%	-	-
	営業利益	157	165	165	+7	+4.8%	-	-
	営業利益率	7.1%	7.2%	7.2%	+0.1pts	-	-	-
エネルギー	受注高	2,227	2,000	2,000	-227	-10.2%	-	-
	売上収益	1,672	2,000	2,000	+327	+19.6%	-	-
	営業利益	223	200	200	-23	-10.5%	-	-
	営業利益率	13.4%	10.0%	10.0%	-3.4pts	-	-	-
インフラ	受注高	566	550	600	+33	+5.9%	+50	+9.1%
	売上収益	501	510	510	+8	+1.6%	-	-
	営業利益	46	40	40	-6	-13.1%	-	-
	営業利益率	9.2%	7.8%	7.8%	-1.4pts	-	-	-
環境	受注高	1,008	680	740	-268	-26.6%	+60	+8.8%
	売上収益	715	800	800	+84	+11.8%	-	-
	営業利益	69	60	60	-9	-13.5%	-	-
	営業利益率	9.7%	7.5%	7.5%	-2.2pts	-	-	-
精密・電子	受注高	2,177	2,800	2,800	+622	+28.6%	-	-
	売上収益	2,469	2,650	2,650	+180	+7.3%	-	-
	営業利益	382	415	415	+32	+8.4%	-	-
	営業利益率	15.5%	15.7%	15.7%	+0.2pts	-	-	-
その他、調整	受注高	11	10	10	-1	-	-	-
	売上収益	11	10	10	-1	-	-	-
	営業利益	-18	-10	-10	+8	-	-	-
	営業利益率	-156.9%	-100.0%	-100.0%	+56.9pts	-	-	-

18 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

セグメントごとの業績予想をご説明いたします。受注の上方修正は、インフラセグメントと環境セグメントにおいてでございます。インフラセグメントにつきましては、上期に国内公共案件を複数受注したこと、そして、北米向けの大型案件を受注したことによって、50億円上方修正いたしました。

環境セグメントにつきましては、オペレーション&メンテナンス案件の受注増加などによって、受注を60億円上方修正いたしました。その他のセグメントにつきましては、期初の予想を据え置いております。

成長投資、基盤投資を着実に実行しつつ、前年度以上の利益水準を見込む



次に、24年の営業利益870億円について、前年860億円からの利益の増減要因をご説明いたします。今期は、売上増加やCMPの収益改善によって、精密・電子セグメントの利益貢献が大きくなりまして、サービス&サポート需要が落ち着くエネルギーセグメントの減益分をカバーして、前期比で増益となる計画としております。この点につきましては、期初の公表値から変更はございません。

1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY24 1-2Q セグメント別業績
3. FY24 業績予想
- 4. トピックス**
5. 補足資料

次に、トピックスについてご説明させていただきます。

#### 4.トピックス

### 生成AI向け半導体と精密・電子セグメントの製品需要との関係



- 生成AI向け半導体で鍵となるのはGPU\*1 とHBM\*2 であり、さらに、それらをつなぐインターポーザ上での配線工程が重要となっている
- 上記3つの需要に対して、当社の製品群は貢献しており、ビジネスの拡大が期待される

#### <精密・電子セグメント製品の需要動向>

生成AI向け半導体のパッケージ (イメージ)



需要	HBM製造向け	GPU製造向け	パッケージング向け
関連する製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CMP、コンポーネント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CMP、コンポーネント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ めっき装置</li> </ul>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ HBMの生産量の増加</li> <li>■ DRAM積層数の増加</li> <li>■ ハイブリッドボンディングの採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ GPUの生産量の増加</li> <li>■ 次世代ノードのGPUの採用</li> <li>■ BS-PDN*4の採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 配線工程の増加</li> </ul>
精密・電子の製品需要動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現在：顧客の高稼働率、増産によりS&amp;S需要が増加</li> <li>■ 将来：製品の需要増加も見込む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現在：顧客の高稼働率、増産によりS&amp;S需要が増加</li> <li>■ 将来：製品の需要増加も見込む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2023年下期より、受注が増加</li> </ul>

参考資料：EBARA IR Day 2023 [https://www.ebara.co.jp/ir/library/business-briefing/\\_icsFiles/afieldfile/2023/12/03/231204\\_PM.pdf#page=10](https://www.ebara.co.jp/ir/library/business-briefing/_icsFiles/afieldfile/2023/12/03/231204_PM.pdf#page=10)

\*1 GPU:Graphics Processing Unit \*2 HBM:High Bandwidth Memory \*3 DRAM:Dynamic Random Access Memory \*4 BS-PDN:Backside Power Delivery Network

21 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

注目が集まっています生成 AI 向け半導体と精密・電子セグメントの製品需要の関係について、ご説明させていただきたいと思えます。

生成 AI の進化と、普及の拡大に伴いまして、その基盤となる半導体技術への投資が増加しておりまして、半導体市場は今後、数年間にわたって大きな成長が期待されていると見ております。この成長は、新しいビジネスモデルやアプリケーションの創出を促して、さらには今の需要を上回る需要を生み出すと考えております。

生成 AI 向け半導体で鍵となるのは、こちらの図に示させていただいているとおり、GPU、Graphic Processing Unit です。それと、HBM、High Bandwidth Memory です。さらに、それらをインターポーザ上でつなぐ配線が重要となっております。当社製品群は、GPU、HBM の製造、さらには、それらをつなぐ配線工程において貢献することができて、生成 AI 向け半導体の需要増加によって、当社ビジネスの拡大が期待されます。

それぞれについてご説明いたします。一つ目は、GPU 製造向けでございます。GPU は、生産量の増加に加え、さらなる先端ノードの GPU が採用されることによって、当社製品の需要の増加が期待できます。将来的には、GPU においてバックサイド PDN、電源供給配線網が採用されることによって、裏面研磨の需要が拡大し、CMP 製品のさらなる受注機会につながると見ております。

二つ目は、HBM 製造向けでございます。HBM の生産量の増加に加え、HBM1 個あたりの DRAM の積層数が増えると、当社の製品群の需要増加が期待できます。すでに CMP は顧客の工場稼働率の上昇、そして、増産によってサービス&サポートの需要が増加しています。また、将来的には HBM の製造プロセスにおいて、ハイブリッドボンディングが採用されることによって、CMP を中心に需要増が期待できます。

三つ目は、先端パッケージング向けでございます。生成 AI 向け半導体パッケージングでは、新たにインターポーザ上で、GPU や HBM といった異なる種類のチップをつなげるための配線工程が必要となります。そこでは当社のメッキ装置が使用されておりまして、すでに 2023 年下期より受注が増えてきております。以上のように、生成 AI 向け半導体の需要増加に連動いたしまして、当社製品の需要も増加していくことが期待されます。

以上、私から業績予想とトピックスについてご説明させていただきました。



1. FY24 1-2Q 連結決算サマリ
2. FY24 1-2Q セグメント別業績
3. FY24 業績予想
4. トピックス
- 5. 補足資料**

5. 補足資料

連結業績予想 (FY24 3-4Q)



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)		3-4Q				1-2Q	3-4Q	増減 e-d
		FY23 実績	FY24 計画	増減 b-a	増減率 (b-a)/a	FY24 実績	FY24 計画	
		a	24/08/14 b			d	24/08/14 e	
連結合計	受注高	4,529	4,453	-76	-1.7%	3,996	4,453	+457
	売上収益	3,955	4,324	+369	+9.3%	3,945	4,324	+379
	営業利益	523	470	-53	-10.1%	399	470	+71
	営業利益率	13.2%	10.9%	-2.4pts		10.1%	10.9%	+0.8pts
建築・産業	受注高	1,103	1,063	-40	-3.6%	1,236	1,063	-173
	売上収益	1,156	1,152	-4	-0.3%	1,147	1,152	+5
	営業利益	90	86	-4	-4.4%	78	86	+8
	営業利益率	7.8%	7.5%	-0.3pts		6.8%	7.5%	+0.7pts
エネルギー	受注高	1,213	1,044	-169	-13.9%	955	1,044	+89
	売上収益	878	1,073	+195	+22.2%	926	1,073	+147
	営業利益	150	124	-26	-17.3%	75	124	+49
	営業利益率	17.1%	11.6%	-5.5pts		8.1%	11.6%	+3.5pts
インフラ	受注高	314	312	-2	-0.6%	287	312	+25
	売上収益	209	251	+42	+20.1%	258	251	-7
	営業利益	2	9	+7	+350.0%	30	9	-21
	営業利益率	1.0%	3.6%	+2.6pts		11.9%	3.6%	-8.3pts
環境	受注高	516	387	-129	-25.0%	352	387	+35
	売上収益	406	416	+10	+2.5%	383	416	+33
	営業利益	43	23	-20	-46.5%	36	23	-13
	営業利益率	10.6%	5.5%	-5.1pts		9.4%	5.5%	-3.9pts
精密・電子	受注高	1,378	1,640	+262	+19.0%	1,159	1,640	+481
	売上収益	1,300	1,427	+127	+9.8%	1,222	1,427	+205
	営業利益	256	222	-34	-13.3%	192	222	+30
	営業利益率	19.7%	15.6%	-4.1pts		15.8%	15.6%	-0.2pts
その他、調整	受注高	6	4	-2		5	4	-1
	売上収益	5	4	-1		5	4	-1
	営業利益	-18	3	+21		-13	3	+16
	営業利益率	-360.2%	75.0%	-285.2pts		-227.6%	75.0%	-152.6pts

23 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5. 補足資料

受注高



(単位: 億円) 発表日(年/月/日)	FY23				FY24			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	3-4Q 計画 24/08/14	1-4Q 計画 24/08/14
連結合計	1,979	3,676	5,983	8,205	1,916	3,996	4,453	8,450
建築・産業	522	1,110	1,693	2,213	581	1,236	1,063	2,300
エネルギー	623	1,014	1,738	2,227	545	955	1,044	2,000
インフラ	156	252	432	566	189	287	312	600
環境	333	492	582	1,008	52	352	387	740
精密・電子	340	799	1,527	2,177	543	1,159	1,640	2,800
コンポーネント	241	423	693	899	224	531	478	1,010
CMP	90	349	769	1,179	286	569	1,120	1,690
その他	7	26	64	98	33	58	41	100
その他	2	5	8	11	2	5	4	10

24 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

## 5. 補足資料 売上収益



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY23				FY24			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	3-4Q 計画 24/08/14	1-4Q 計画 24/08/14
連結合計	1,840	3,638	5,512	7,593	1,938	3,945	4,324	8,270
建築・産業	530	1,065	1,618	2,221	565	1,147	1,152	2,300
エネルギー	359	794	1,188	1,672	435	926	1,073	2,000
インフラ	203	292	379	501	172	258	251	510
環境	178	309	470	715	208	383	416	800
精密・電子	564	1,169	1,845	2,469	553	1,222	1,427	2,650
コンポーネント	238	477	719	974	248	506	503	1,010
CMP	317	676	1,093	1,447	295	688	851	1,540
その他	8	15	32	47	8	28	71	100
その他	3	6	9	11	2	5	4	10

25 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

## 5. 補足資料 営業利益



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY23				FY24			
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	3-4Q 計画 24/08/14	1-4Q 計画 24/08/14
連結合計	152	337	569	860	192	399	470	870
建築・産業	39	67	104	157	43	78	86	165
エネルギー	11	73	126	223	36	75	124	200
インフラ	48	44	33	46	35	30	9	40
環境	18	26	33	69	30	36	23	60
精密・電子	34	126	271	382	54	192	222	415
その他、調整	0	0	0	-18	-8	-13	3	-10

26 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved



5. 補足資料  
受注残高



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	FY23				FY24		1-4Q 計画 24/08/14
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	
連結合計	8,272	8,368	8,925	8,907	9,091	9,380	9,087
建築・産業	617	746	701	606	650	732	606
エネルギー	1,736	1,820	2,204	2,101	2,329	2,353	2,101
インフラ	513	525	673	674	696	708	764
環境	3,329	3,291	3,306	3,469	3,321	3,572	3,409
精密・電子	2,075	1,984	2,039	2,054	2,094	2,013	2,204
その他	0	0	0	0	0	0	0

27 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

5. 補足資料  
地域別売上収益



(単位：億円)	FY23				FY24	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
建築・産業	530	1,065	1,618	2,221	565	1,147
日本	236	452	663	940	261	487
アジア (日本除く)	135	290	464	620	128	297
北米	36	78	118	155	40	88
欧州	59	123	177	232	60	127
中東	20	32	54	66	23	38
その他	42	87	140	206	52	108
エネルギー	359	794	1,188	1,672	435	926
日本	18	49	70	106	23	48
アジア (日本除く)	117	319	456	630	144	326
北米	137	149	252	357	123	296
欧州	15	66	108	153	23	46
中東	55	161	228	312	103	165
その他	14	48	72	110	18	44
インフラ	203	292	379	501	172	258
日本	191	265	328	435	162	233
アジア (日本除く)	9	23	44	55	7	20
北米	0	1	3	5	0	0
中東	0	1	2	4	1	2
その他	0	0	0	0	-	-
環境	178	309	470	715	208	383
日本	178	298	450	671	208	380
アジア (日本除く)	0	11	20	43	0	2
精密・電子	564	1,169	1,845	2,469	553	1,222
日本	102	223	393	546	140	295
アジア (日本除く)	340	685	1,039	1,364	291	669
北米	60	129	206	292	83	183
欧州	54	121	195	253	34	69
その他	6	8	10	13	2	4

28 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

## 5. 補足資料

## サービス&amp;サポート(S&amp;S)売上収益



(単位：億円)		FY23				FY24	
		1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q
建築・産業	S&S売上収益	108	217	315	499	140	263
	S&S比率	21%	20%	20%	23%	25%	23%
エネルギー	S&S売上収益	214	462	678	964	221	442
	S&S比率	60%	58%	57%	58%	51%	48%
インフラ	S&S売上収益	116	154	192	244	100	143
	S&S比率	57%	53%	51%	49%	58%	55%
環境	O&M売上収益	150	255	376	566	172	305
	O&M比率	84%	82%	80%	79%	83%	80%
精密・電子	S&S売上収益	156	324	509	711	177	391
	S&S比率	28%	28%	28%	29%	32%	32%

29 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

## 5. 補足資料

## 貸借対照表



(単位：億円)	FY23 2Q a	FY23 4Q b	FY24 2Q c	増減 c-a	増減 c-b
資産合計	8,527	9,139	9,688	+1,161	+549
流動資産	5,941	6,483	6,772	+830	+288
現金及び現金同等物	1,436	1,480	1,784	+348	+304
営業債権	2,286	2,632	2,468	+181	-164
棚卸資産	1,959	2,006	2,162	+203	+156
その他流動資産	259	363	356	+96	-7
非流動資産	2,585	2,655	2,916	+331	+261
負債合計	4,599	4,923	5,081	+481	+158
営業債務	1,505	1,532	1,364	-140	-167
有利子負債	1,257	1,452	1,441	+184	-10
その他負債	1,836	1,938	2,275	+438	+336
資本合計	3,927	4,215	4,607	+679	+391
親会社所有者帰属持分	3,823	4,098	4,493	+670	+394
その他資本	103	116	113	+9	-3
親会社所有者帰属持分比率	44.8%	44.8%	46.4%	+1.6pts	+1.6pts
D/ELシオ	0.33	0.35	0.32	-0.01	-0.03

30 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

## 5. 補足資料

## キャッシュ・フロー



(単位：億円) 発表日(年/月/日)	1-2Q			1-4Q		
	FY23	FY24	増減	FY23	FY24 計画 24/02/14	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c
営業活動CF	521	642	+120	700	700	-0
投資活動CF	-159	-168	-8	-356	-730	-373
フリーCF	362	474	+111	343	-30	-373
財務活動CF	-116	-236	-119	-46	-80	-33

31 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

## 5. 補足資料

## 資本的支出、減価償却費、研究開発費



	1-2Q			1-4Q		
	FY23	FY24	増減	FY23	FY24 計画 24/02/14	増減
	a	b	b-a	c	d	d-c
資本的支出	160	274	+114	406	720	+313
建築・産業	34	35	+0	95	140	+44
エネルギー	22	40	+17	65	170	+104
インフラ	2	8	+6	5	20	+14
環境	3	16	+12	27	30	+2
精密・電子	51	105	+54	122	260	+137
その他、調整	45	68	+22	91	100	+8
減価償却費	129	148	+18	265	290	+24
建築・産業	32	39	+7	67	70	+2
エネルギー	24	26	+1	49	50	+0
インフラ	4	4	-0	9	10	+0
環境	3	4	+0	7	10	+2
精密・電子	38	41	+3	76	80	+3
その他、調整	25	32	+6	55	70	+14
研究開発費	88	92	+4	182	240	+57
建築・産業	21	23	+2	45	50	+4
エネルギー	17	11	-6	34	40	+5
インフラ	3	3	+0	6	10	+3
環境	7	8	+0	14	20	+5
精密・電子	38	45	+7	80	120	+39

32 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

### 統合報告書

#### 統合報告書2024を発行

2024/6 News release <https://www.ebara.co.jp/ir/library/annual-report/index.html>

<主なポイント>

・荏原の強みを示す価値創造ストーリー ・コングロマリット・プレミアム創出の可視化  
・生産革新ROIC、知財ROICなどROICマネジメントの進捗 ・取締役会の活動や、株式市場と社外取締役との対話の掲載

### E : 環境

#### 世界最大規模の水素イベント「World Hydrogen 2024 Summit & Exhibition」に初出展

2024/5 News release

#### 「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に初選定

2024/7 News release

#### 株式会社トクヤマと水素焚吸収冷温水機の実証試験に関する覚書を締結

2024/7 News release

#### 液体アンモニア用キャンドモータポンプの実液を用いた運転に成功

2024/7 News release

#### サステナビリティ・リンク・ボンド（社債）を発行予定

### S : 社会

#### 荏原が提供する育児とキャリアの両立支援！夏休み短期学童企画「えばランド」開催

2024/7 News release

#### 令和6年度全国発明表彰「発明奨励功労賞」を受賞

2024/7 News release

### 外部評価

#### 「第13回 日本HRチャレンジ大賞」で奨励賞を初受賞

2024/6 News release



#### ESG指数の構成銘柄に継続選定

2024/7 News release

33 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved

## 免責事項

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

34 Copyright(c) Ebara Corporation, All rights reserved